

青梅市文化財ニュース

第456号

令和7年10月15日

発行 青梅市文化財保護指導員連絡協議会

青梅市郷土博物館(青梅市駒木町 1-684 TEL0428-23-6859)

長淵・駒木町・千ヶ瀬町をつなぎ、あきる野・日の出を結ぶ調布橋

NHKの連続テレビ小説『ばけばけ』が9月29日から始まりました。明治時代に活躍された作家・小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)さん(1850~1904)と妻のセツさんをモデルにした物語です。その八雲の代表作『怪談』の序文には、「雪おんな」に対して以下の記載があるのは著名です。2002(平成14)年、この記述の英文と日本語訳のレリーフが調布橋の北側たもとに多くの市民の寄付等で設立されました。石碑の揮毫は、八雲のお孫さんにあたる小泉時^{とき}さんによるものです。

【記述(日本語訳)】

この「雪おんな」という奇妙な物語は、武蔵の国、西多摩郡、調布村の百姓がその土地に伝わる古い言い伝えとして、私に語ってくれたものである。

1904(明治38)年1月20日 日本 LH(ラフカディオ・ハーン) ※記述の()内は塚田加筆



「雪おんな」が掲載された『怪談』が出版されたころの調布村には、多摩川を常時渡れる橋は架かっていませんでした。調布橋ができる以前には、長淵村対岸の千ヶ瀬村を結ぶ渡船場が調布橋下流200m付近に「千ヶ瀬の渡し」として設けられていました。『多摩川絵図今昔源流から

河口まで』(著・今尾恵介)によると、冬から春にかけての減水期には仮の橋が架けられていました。長淵7丁目と千ヶ瀬町5丁目の多摩川をまたがる調布橋の初代の橋は、調布村有志が力を合わせ、幅九尺(2.7m)の吊橋として1921(大正11)年2月に竣工されました。青梅と日の出(二ツ塚方面)やあきる野(五日市方面)を結ぶ道における重要な橋とされ、市内でも近代的な建築の橋の一つとされています。

南側たもとの調布橋の碑によると、昔よりこの地は織物が盛んであり、1890(明治22)年の市町村移行にあたり、上長淵、下長淵、友田、河辺、千ヶ瀬、駒木野の六村部落が織物にちなみ、調布村として村制を施行することになりました。当時の人々はこの少し下流にあった「千ヶ瀬の渡し」によって、多摩川を往来しました。その後、1935(昭和10)年にこの橋は東京府によって、当時の最新の技術によるブレストリブ・アーチ橋(幅8m)に架替え

られました。美しい姿のこの橋は、東京都の著名橋として、以後 58 年余りに渡り多くの人々に利用され、大変親しまれました。その後、再度架替えられることとなり、今日に至ります。吊り橋から数え三代目となる本橋（現在の橋）は、上路式鋼逆ローゼ橋（幅 16m）で、歩道整備、拡幅が行われ、親しまれることを願ってここに完成したものであります。平成六年 三月 東京都（調布橋 碑文より）（一部略・一部加筆）

約 100 年前の大正時代末期 1922（大正 12）年に当時の東京府西多摩郡役所が発刊した『西多摩郡名勝誌』にも万年橋とともに調布橋の記載があります。長さ 348 尺（105m）、幅員 9 尺（2.7 m）、1920（大正 10）年 3 月起工 1921（大正 11）年 2 月 10 日竣工し、工費 9800 有余円なりと言われています。調布橋南側のたもとには、この時に関わる石碑が残っています。時間も経ち判読することは難しいのですが、『多摩川・成木の歴史と成木川』（著・木崎芳三）によると青梅町周辺だけでなく、現在の青梅市、あきる野市、瑞穂町から 100 名近い個人の寄付、また青梅鉄道(株)、(株)青梅銀行、(株)多摩銀行の寄付もあったとされます。

また、その後に青梅町役場が 1923（大正 13）年発行した『青梅案内』にも調布橋の記載があり、橋からの多摩川の流れや景色の良さが書かれています。

昭和 100 年と言われる 2025 年、偶然にも小泉八雲さんご夫妻がモデルのドラマが始まり、小説「雪おんな」とかかわりのある地と言われる旧調布村（現在の長淵、駒木野、友田町周辺）にある橋の一つである調布橋です。ぜひ渡っていただき周辺を散策してください。

【画像提供】

株式会社 岩浪建設

【参考引用文献】

西多摩郡名勝誌【復刻版】（西多摩名勝誌復刻協賛会 1985）

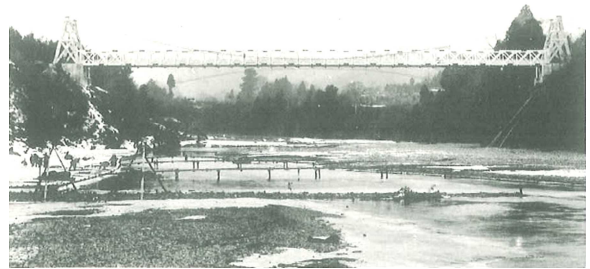
青梅案内【複写】（西多摩郡青梅町 1923）

多摩川・成木の歴史と成木川（著・木崎芳三 1998）

多摩川絵図 今昔 源流から加工まで（著・今尾恵介 2001）

多摩のあゆみ 108 号（発行 財団法人たましん地域文化財団 2002）

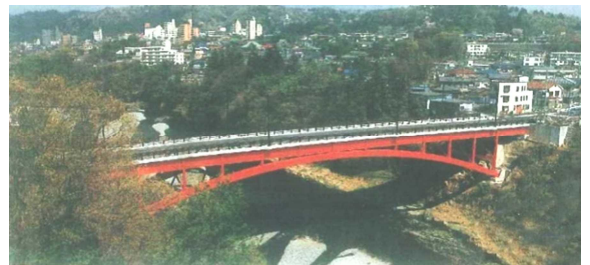
調布玉川繪圖【複写】（西多摩郷土研究の會 1953）



初代 調布橋 1921（大正 11）年 岩浪建設（株）HP より



二代 調布橋 1935（昭和 10）年 岩浪建設（株）提供



三代 調布橋 1994（平成 6）年 岩浪建設（株）HP より

（文責 塚田直樹）